



陽春 (写真提供/本町一 風間源一郎氏)

小須戸公民館報

発行所 小須戸町 中央公民館
発行人 岡 謙 吾
発行日 毎月 15 日

ちょこっと一言 (49)

「ハイキング」
私は結婚いらい、十年になりますが、毎年のように弥彦山と角田山でハイキングを楽しんでいます。
ハイキング中によく見知らぬ人々から「こんにちは」「お疲れ様」と声をかけられたり、自分から声をかけたりしています。



小須戸派出所長 齊藤 保義 さん

そのたびに、なんと素晴らしいことではないかと思ってしまう。これこそ、相手の心を思いやる人の心の現れではないでしょうか。
「向こう三軒両隣」から「隣は何をする人ぞ」に変わりつつある世の中ですが、このような人間愛に、あなたもそっと触れてみませんか。

平成4年度

中央公民館の方針と活動

中央公民館長 岡 謙 吾



「あいさつ」

桜花爛漫、希望に溢れる四月を迎えましたが、町民の皆様にはお元気で過ごしのことを存じます。

さて、三月は学校などで卒業式、職場では定年を迎えた皆さんが退職されるなど、俗に言う「別れの季節」でありましたが、この四月は逆に新入社員の入社、新一年生の入学式や入園式が行なわれた「出会いの季節」であります。

公民館も新しい年度を迎えて、町民の皆様に対しては「より身近な所での公民館活動」を基本方針として、各分館も含め、職員一同新たな気持ちで各種事業を展開してまいりますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

豊かさの裏には
近年、私達は物質的・経済的の両面で、まことに恵まれた豊かさを享受してきました。しかしながら、三月の館報で特集したように、豊かさゆえにゴミ公害の発生、海洋や宇宙の汚染、熱帯林やオゾン層の破壊、酸性雨や砂漠化の進行など、環境破壊によって、地球は大きく傷ついてまいりました。

これら人類の未来にかかわる環境破壊からいかにして地球を守るべきか、そして、豊かな人間環境を確保するにはどうすべきか、ということを年度変わりに

に当って問題提起をし、今後皆さんとも考えて行きたいと思えます。

生涯学習時代に向けて

これから一段と要望の強まる生涯学習については、公民館がいかにしてサービスセンター的な役割を担うべきか。また、学校の五日制にはどのように対応すべきかなど、問題は数多くあります。

基本的な問題については社会教育委員会、公民館運営審議委員会、そして近く設置が予定されている生涯学習推進会議などの各機関の提言、ご審議を頂きながら適切な運営を行う所存でございます。

なお、紙面の都合で事業計画全般について簡単に申し上げますが、開催が予定されている各種の講座・教室、そして教育委員会で行うスポーツ教室につきましては、多数の町民の皆さんからチャレンジして頂くようお願いいたします。

今年度の主な活動

- ◆各種入門教室を開きます
どなたでも参加できます。さあ、申込みしましょう。
・陶芸教室・鳥獣教室・表装教室・手づくりおやつ教室・生花教室
- ◆新しい教室を開きます
申込み受付中!!心の安らぎにおひとつどうぞ。
・茶の湯教室(ふれあい会館)
・絵画(油彩)教室

平成4年度文化協会総会終了

新会長に中野武氏(小向) 選任

三月十九日、中央公民館三階ホールで平成4年度文化協会総会が開催され、今年も新たに茶の湯紗会など四団体が加盟し、四十七団体八百四十名の組織となりました。尚、今年度は役員改選期に当たり、会長は加藤米二さんから中野武さんへ引き継がれました。以下の方々が役員・理事に選任されました。



- 顧問 加藤 米二(横川浜)
- 会長 中野 武(小向)
- 副会長 高橋 キヨ(新栄町五)
- 幹事 水沢喜代志(公民館)
- 理事 皆川イミ子(若葉町三)
- 理事 高山信市郎(新保三)
- 理事 真柄 安子(矢代田一)
- 理事 山本 アイ(中央町一)
- 理事 吉田 申三(若葉町一)
- 理事 福島 芳雄(新町一)
- 理事 市村 憲司(矢代田八)
- 理事 渡辺 信(文京町二)
- 理事 本望ヒサオ(本町五)
- 理事 酒井 十吉(新津市)
- 理事 渡辺 信子(中央町二)

お知らせ

ふれあい会館 移動文庫の貸出し日が変わります。

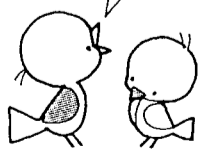
五月一日より、ふれあい会館移動文庫が次のように変わります。簡単に誰でも借りやすくなっていますので、どうぞご利用下さい。

貸出し日 休館日を除く火曜日
から土曜日
時間 午前十時から午後五時
利用方法 「貸出し簿」に記入するだけですぐ借りる事ができます。

読んでトクする豆知識

切傷は卵の白身で止血をする。

自身の成分ケファリンには血を固める作用がありガーゼに卵白をぬって傷口にあてる。



秋の爽りを願って

新保の七五三縄作り記

四月三日の天候穏やかな春日、新保研修センターで神社鳥居の七五三縄作りを行なっていた。研修センターの大広間では、六人一組で藁を束ねて太い縄をつくらせている。それを三本組み合わせて一つの七五三縄を作るのである。

「毎年の恒例行事でね、豊作祈願の春祭りには新しい七五三縄でござよう、あわせるんだわ」と、川瀬弘一さん。藁を毎年用意してくれる石黒米一さんは、「自分の健康のためにも、できるうちは用意するさね」と笑って話してくれた。

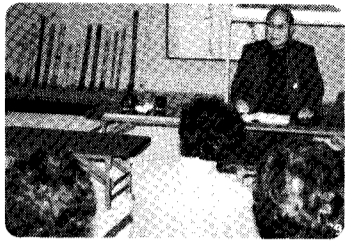
取材しているうちに二本の七五三縄が完成。みんなで力をあわせて作ったそれには、豊作と一年の無病息災への祈りが感じられる。そして隣の神社鳥居に掛ける作業を見て帰ってきた。



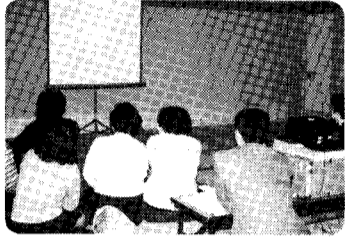
四月より社会教育指導員が代わりました。村和夫さんから、馬場高志さんに代わりました。前任者同様よろしくお願ひします。



馬場高志さん



3月13日 ふくろう講座、平間昭一さん「話の半分しか言えなかつた」



3月26日 矢代田分館婦人学級 スライドを使って話を聞きました。



3月21日 親子チャレンジ教室 安田ヨーグルト工場を見学。

催し物

童話劇「めつきらもつきら どおんどん」

期日 四月二十二日(水)

午後六時三十分から午後八時
会場 ふれあい会館ホール
整理券(前売) 保育園・幼稚園 児五百円、小学生以上千円
当日は全て千円
中央公民館で随時取り扱っております。

ふくろう講座開級

期日 五月八日(金)

午後七時三十分から九時
会場 中央公民館二階会議室
お話し 間野良知さん
(新保三)

スポーツでいい汗、流そう、
ニュースポーツ講習会

期日 五月十三日(水) 二十日

リンクル収集状況



小須戸分館

平成四年度総会のご案内
期日 四月二十五日(土)
午後七時より九時三十分
会場 中央公民館三階ホール
※各町内嘱託員の皆さんは分館代議員として総会にご出席下さい。

小須戸町スポーツ振興基金

「スポーツが盛んな小須戸町」として県内外で広く知れ渡り、体育施設も年々整備されてきました。しかし、実際の活動となると数多くの問題や障害が残っていました。特に指導者の育成や、選手の競技大会派遣に関わる資金不足です。各団体共通の悩みとして、何とか対応策はないものかとしきりに声が聞かれます。この問題について昨年から協議を重ねた結果、「スポーツ振興基金」を創設しようとして

新会員募集

ヨガで健康と若さを増進しましょう

期日 五月より毎週火曜日

午前九時三十分から十一時
会場 スポーツ公園、ふれあい会館

ソフトバレーボール教室

期日 五月より毎週木曜日

午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館

グラウンド・ゴルフ教室

期日 五月より第二、四日曜日

(雨天時は次の日曜日実施)
午後七時から八時三十分
会場 スポーツ公園

こすどまち今昔写真展

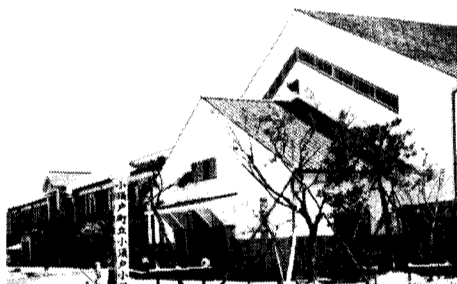
四) 中央公民館へ
◆電吟会(詩吟)
活動日 毎週土曜日午後七時から九時三十分まで
会場 中央公民館二階会議室
会費 月二千円

申込み 安達キヨノ(三八一三六四四) 中央公民館へ

花とみどり館
臨時オープン!

昨年度よりうでこきの花木センター脇に建設が進められていた「花とみどり館」が、五月三日から五日の植木盆栽まつりの期間中、臨時に開館します。なお、同期間中に、丸太を使用したハンドメイドのイス、テーブル、フラワーボックス作りを上演します。

こすどまち今昔写真展 (12)



(昭和38年)



(現在)

小須戸小学校 (雁巻)

小須戸小学校は明治5年に「私学校育英舎」として開校。翌6年に県に認可された時は、生徒94名(内女子8名) 先生は3名であった。その後住吉神社、現在の市場へ移転。昭和30年に新保・横水小学校と統合され現中学校の上手に建設された。それからさらに30年経過し、老朽化のため現在地へ移転した。

これは言いたい!

飼い主のみなさんへ

私は晴れた日には、河川敷や近くの公園へよく散歩に出かけます。毎回同じコースを歩いていても、何かしら季節のたよりが見られるので飽きるといふ事はありません。しかし、季節ごとの色や香りを楽しみながら歩いていると、時々とても厭な事に出合います。それは犬の糞。同じ所で何頭もするの、山になった物を見つめます。特に踏んでしまった時は、せつなかの楽しい気持ちも一瞬にして不快感に襲われ、やがて面倒を見て下さい。最後ま

匿名希望

文芸欄

川柳

父の日に母同伴のホテル米 藤井春江
勝ら取った椅子に座れば睡くなる 渡辺信子
消灯で孤独の殻へまた戻る 高橋ただし
冬五輪聖子最後に銅メダル 松沢キヨ

短歌

膝小僧そろえて幼き孫二人積んでは前す積木の遊び 児玉サツ子
窓の雪見れば思はゆ去年ふみし歌碑立ち並ぶ 野俣玲子
五頭の山みち 本多玲子
録音子の部屋に置く 大森美恵子
句いたつ春を先どり幼等はスカートゆらし路地を駆けゆく 安達順子
春急ぐ嵐をさけて縁側に「富士の嶺」という木瓜を並べぬ

俳句

舞送る燈の炎や鳥曇 村山又雄
水温む厨の妻のひとり言 渡辺信子
コード抜き形ばかりの春炬燵 安達キヨノ
せいぐと息する母や戻り寒 須藤恵美子
安吾忌のぬくき雨ふる大安寺 中野太浪
集会所やたら春めく燈がともる 五十嵐香月
雪嶺に春の降り立つ橋半ば 吉田素糸

「これは言いたい」の原稿を募集しています。住所・氏名・TELを記入のうえ中央公民館「館報事務局」へ郵送、もしくは持参して下さい。匿名希望はその旨お書き添え下さい。